

◇保育科第三部 主要科目の特長

科目	特長
保育原理A	今の社会に必要とされる保育について、システムや法令、歴史の変遷や現代的ニーズ等を中心として真摯に考えながら、何が子どもにとっての最善の利益なのかを、社会変化やそれに伴う保育の課題を軸に考察を深めていく。学生諸君の幼い日の経験が考える原点とも言えます。その中の何が現在の自分に影響しているのか、学びながら解き明かしていきましょう。
教育・保育の計画と評価	教育課程・全体的な計画と指導計画の作成について、その意義を十分に理解し、理論と実践をつなぐことができるように、基本的な知識を修得する。実際の保育を視聴覚機器を通して視聴し、保育に対する基本を理解した上で、子供の主体性を尊重する指導計画の作成について理解することを目的とする。さらに、保育をめぐる今日的課題をいろいろな方法で察知し、子どもや保育に関する様々な専門的知識を修得し保育の実践力を養う。
保育の心理学	保育・教育実践上、各発達理論および子どもの発達過程を理解することが不可欠である。保育の心理学では、人間の生涯にわたる発達過程の理解したうえで、発達を踏まえた養護および教育の一体性や発達に即した援助の基本となる子ども理解を目指す。誕生から死に至るまでの人間発達の流れを複数の発達段階に区分し、それぞれの段階における発達の特徴を学び、さらに乳幼児期の子どもの発達特性に合わせた支援方法を考えることを目標とする。
音楽教育A	保育現場で音楽活動を行うにあたっては、まず、楽譜に書かれている内容の理解が必須です。本授業では音楽の基礎である音楽理論を学びます。
造形A	本授業は、保育者として子どもの造形行為から発達の姿を理解し、子どもを取り巻くさまざまな環境が造形表現につながるような、基礎的な保育技術や知識を身につけることを目的としています。授業は担当者ごとに、色面構成の作品制作とそれらをまとめた作品集の制作を行う、子どもの絵を発達や特徴について学ぶ、造形活動に必要な素材体験を行うなど、造形への関心を高める内容で進めていきます。
幼児体育A	運動技能の発達が心身へもたらす影響について理解し、保育における運動遊びの意義を学ぶ。子どもたちが主体的に運動に取り組むことのできる環境や支援のあり方について考える。

◇保育科第三部 主要科目の特長

科目	特長
社会福祉	<p>社会福祉に関する基礎知識を学ぶことが本講の目的である。特に、社会福祉の歴史・法律・制度・施設・資格・課題等を学ぶことを主眼としている。また、社会福祉は生きたものであるので社会福祉の動向についてもふれていきたいと思う。最後に社会福祉関係に従事するものは専門知識だけでなく倫理や哲学といった人格や人間性も重要である。本講ではそのような観点から現代の社会福祉問題を取り上げ、自分ならどう考えるか、どのようにして援助していくのかについても考察していく。</p>
教育原理	<p>人間にとって教育とは何か、また、教育は、人間形成においてどのような意義や役割、目的があるかについて、人間学的な知見や教育の歴史と思想、学習や教授法他の方法論の模索や確立について学び、理解を深めることができるようにする。それをもとに、現代の教育課題について考え、これからの教育を追求する機会としたい。</p>
教師・保育者論	<p>学生が目指す保育者像を明確にし、その実現のために必要な学習過程を計画する。また、保育に関する知識を深める。I 期に学んだ理論や実習からの学びを通して、チーム学校運営の一翼を担う保育者としての資質の向上と実践の省察、評価の大切さを知る。さらに、学生自身の人生経験を振り返らせ、その結果を今後の進路選択に活用するなど、自らの望ましい保育者像を構想する。</p>